

年 組 名前：



移動支援事業で使用している車両＝西桂町下草地

西桂町 事業1年

高齢者の送迎好評

利用距離 7倍に増加

西桂町で開始から1年となる町職員が運転する高齢者の移動支援事業が、好評を得ている。従来のタクシー券を配布する方法と比べ、利用された移動距離は約7倍に増加。担当者は「町民の要望をくみ取り、制度をさらに改善していった」と話す。

〔深沢 澤〕

事業の対象者は、運転免許者。平日の午前8時15分から午後5時までの間、町が臨時採用した職員が運転する町の公用車両2台で町内外へ送迎してもらおう。運賃は無料で、利用の目的は原則として問わない。事業は町が推進し、委託を受ける町社会福祉協議会が実施している。

利用回数は高齢者1人につき、1カ月に町内のみの片道利用が16回、町外への移動は4回で、登録者同士の相乗りも可能。町外への移動では都留市や富士河口湖町の病院の送迎などに対応した。昨年度までは登録者に2万4千～3万6千円のタクシー券を配布していたが、支給した料金で

移動できる距離が限られていたため、利用者からは「移動できる距離が増え、便利になった」と評価する声上がる。登録者は昨年末時点で約120人となり、昨年4月の開始時から約1.7倍増加。本年度使用している車両の移動距離（4～12月）は、9973キロで昨年度まで支給していたタクシー料金で走行可能な距離と比較して、概算で7倍に増えた。

町は山あい位置し坂が多いことや、公共交通機関が三峠駅に停車する富士急行線のみで路線バスなどの運行がないことから、高齢者の移動手段の充実が長年の課題となっている。利用率や町民からの要望は高まり続けていて、担当者は「高齢者の暮らしにじかに寄り添う事業。地域住民の実情に合った制度となるよう改善を続けたい」と話している。

(2023年2月8日付 山梨日日新聞 16面)

問1 西桂町が1年前から始めた「高齢者の移動支援事業」が好評を得ています。

どのような人が、この事業の対象者ですか。

.....

問2 タクシー券配布時の利用距離と比較して、7倍になりました。その理由を教えてください。

.....

問3 西桂町が、この事業を始めた訳を教えてください。

.....

.....